

医療安全推進週間企画  
全職員参加「医療安全百人一首 - TCC ver. -」

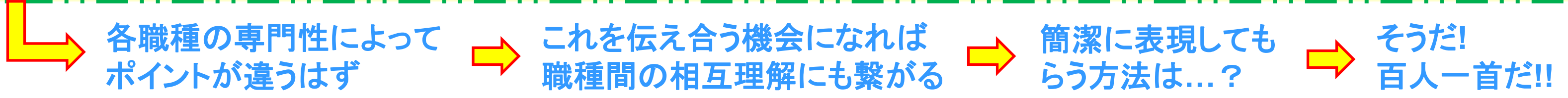


ハイハイと返事をしている患者さん 実は名前が違ってたあ！

栃木県立がんセンター ○永井智恵美<sup>1)</sup> 池沢けい<sup>2)</sup> 菱沼正一<sup>3)</sup> 清水秀昭<sup>4)</sup>  
1) 栃木県立がんセンター医療安全管理者 2) 同看護部長 3) 同病院長 4) 同所長

【企画の背景】

医療安全教育・・・、日常場面で活かされなければ意味が無い →教育効果を可視化したい！  
職員は日常の担当業務中、どのような場面で医療上のリスクや安全を考えるのだろうか →共有して活かしたい！  
医療現場で私たちが実践している努力は患者さんやご家族に届いているだろうか →知ってもらい安全性を高めたい！



日々の業務で感じたヒヤリ・ハットしたこと、気づき、安全のために実践していること、提言などあなたのセンスで和歌に表現して下さい！！



なるほどなあ～色々あるなあ



表彰式！

対象：全職員、1人1句以上(上の句：5・7・5 下の句：7・7) 募集期間：平成24年10月22日～11月12日  
患者・家族の目に触れるところに掲載＝職員及び患者・家族など多くの人に啓発を図る

募集期間20日間で446名から712首・・・ほんの一部をご紹介します  
スタッフが医療安全の視点を日常の場面に落とし込んでいることが可視化された！！

<p>所長賞</p> <p>ハイ、ハイと返事をしている患者さん 実は名前が違ってたあ！</p> <p>患者誤認への警鐘 確認行為の重要性</p>	<p>病院長賞</p> <p>我こそは 過ちせずと 胸を張る 常の思いぞ 危うかりけり</p> <p>人は誰でも間違える 正しいと思って間違える</p>	<p>病院長賞</p> <p>「様子みて！」 ピッチに響く 医師の声 さんさん様子、見た後なのに...</p> <p>風土・チームワーク・コミュニケーション</p>	<p>医療安全管理室賞</p> <p>小さくも捨てる前に再確認 もらさないぞ 個人情報 テーブルに置きっぱなしのメモひとつ 意外なところに個人情報</p> <p>個人情報保護 リスクセンス メンタルモデル？！</p>
<p>医療安全管理室賞</p> <p>要注意！！ 「いつもと同じ」魔の言葉 わかっても声だし確認 「あれ変更」「はいはい了解、これ変更」 やっぱり危ない伝言ゲーム</p> <p>思い込み・確認不足</p>	<p>ユーモア賞</p> <p>「完璧だ！」 けれど 反省してみれば 今日もヒヤリの ハットトリック</p> <p>ああ、また決まっちゃった 1日の振り返り</p>	<p>ユーモア賞</p> <p>転ばぬ先の徘徊マット マット飛び越え 最初の一步 マットまたいで 遠くに一步</p> <p>KYT・観察・分析・経験</p>	<p>ほのぼの賞</p> <p>「車掌みたい」 子供に言われ 照れ笑い 家でもやってる 指差し確認</p> <p>安全行動の実践 安全行動の習慣化</p>

画像診断部 IVR室

「よかったね～」  
事故を未然に食い止めた！  
「見る・言う・聞く」で  
大きな手柄！

看護師が実践していた医療安全標語の唱和

始業時に多職種チームでやろう

まずは・・・、  
全員そろって、  
今日の予定の  
フリーフィング  
患者の情報共有

続いて安全標語の唱和！  
医師・技師・看護師  
にこやかな1日の始まり

企画をきっかけに  
多職種チームの  
安全活動に発展！

【期待した効果】→ 全てクリア！ おまけにイイ教育材料が集まった！！ 感謝！！！！

- 各自が句を考える過程で、日々の業務の中に医療安全(患者安全)上、どんな問題があるかを考える機会になり、その後の業務に振り返りが活かされる。
- 全職員を対象とすることで、多角的視点で日頃気づかない潜在的な医療安全や事故防止への意識を言語化(見える化)し、それを共有することができる。
- 多職種から募集することで、各専門職が感じている(抱えている)問題が表出される。
- 医療者だけでなく一般人にも、病院内に潜む様々な問題を認識していただく機会となり、共に医療安全に取り組む必要性を理解していただく機会にもなり、患者参加の医療安全の話題性が高まる。
- 低予算で「全職員参加の医療安全推進」の取り組みが行える。
- 講義やマニュアル提示などの聴講・机上学習だけでなく、参加型企画で自律的な学習効果が得られるため、各自が医療安全について身近にとらえ、安全活動に還元される。

教育効果の可視化 情報発信と共有 多職種相互理解 自律的学習機会 費用対効果もOK

企画後のアンケート 安全文化も向上！

- ★改めて安全についてじっくり考え、振り返る機会となった。
- ★職員間や患者さんと医療安全について会話することが増えた
- ★他職種の苦労や気遣いを知り、協力しようと思った。
- ★違う視点に学ぶことが多くあった。部署で毎日唱和したい。

RM永井賞

草の根のごとき  
努力と思いつつ・・・  
ヒヤリ・ハットを大切に積む

報告の意味と大切さ  
医療安全への理解